



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



緊張してはじめての体操



笑顔で実習2日目

5月31日～6月2日の3日間、倉敷中央高校2年生の3名が介護実習のため、老健あかね通所リハビリテーションに来られました。私たち実習指導者も緊張した面持ちで初日を迎えました。ところが生徒さんたちは、いろいろなことを吸収しようと一生懸命です。そんな姿がとても印象的で、みなさん日を追うごとに緊張もほぐれ、積極的に利用者様とコミュニケーションを図り、それぞれの実習目標を達成されました。



一緒に手拍子でコミュニケーション



「ビリをうまく工夫して提供していること。そして何より「常に笑顔」の姿勢を褒めてもらいました。みなさんもとびっきりの笑顔を大切に、さらに成長されることを期待しています。老健あかね 通所リハビリテーション 主任 松本裕美子

倉敷中央高校 とびっきりの笑顔で 介護実習体験



多職種で自宅復帰に向けての病棟回診

岡山県民医連リハビリ技術者新人発表会が当院で17年5月20日に開催され、3名で発表に臨みました。参加者は岡山県内の事業所から50名以上が参加し、賑やかな発表会となりました。発表準備をするにあたり、過去一年分のカルテを見返し記憶を辿りました。それぞれに「もつとできることがあったかも・・・」「今ならこう考えるなあ・・・」などたくさんの方省点が浮かんできました。私たちが理学療法士は、「起きる、立つ、移動する」といった基本的な動作能力の向上を図ることが病院での役割になります。そしてこれらの動作が、自宅で安全に行える生活プランの提案に悩んだことを思い出しました。

発表させて頂くこととなった症例は、それぞれに入院前より転倒を頻回に繰り返して

いた方、本人は帰宅願望が強いが家族の受容に難がある方、入院後に本人のやりたいことと能力に乖離がある方など様々でした。 今回の発表で感じたことは、具体的に自宅復帰に向けての課題を把握するには自宅訪問が効果的だということです。患者様の生活環境は多様で、患者様自身も気づかない在宅での課題があります。しかし実際に自宅環境をセラピストにも見せて頂くことで、課題を共有しながらリハビリすることができ



県内から集ったリハビリ関係者

1年間の成長を披露する 新人発表会

沢山の先輩方に注目されながらの発表はとても緊張しました。しかし今後に繋がるようなアドバイスを多く頂き、充実した発表となりました。一年間の仕事を振り返る良い機会にもなりました。また、同期の発表も良い刺激となりました。コープリハビリテーション病院 リハビリテーション科 理学療法士 長谷川一郎 高木 美里 林下 晃輔



筆者(左から長谷川・高木・林下)

認知症を示す代表的な疾患のうち加齢の影響を大きく受け、認知症が病状の主体をなすのが、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症です。このうち最も多いとされているのがアルツハイマー型認知症です。 アルツハイマー型認知症の原因はよくわかっていないと言われていますが、不要タンパク(βタンパク)が脳に蓄積することが原因だといわれています。この不要タンパク(βタンパク)が脳に蓄積しないようにすれば、アルツハイマー型認知症を予防できると言われています。

特集 看護 ② 認知症予防について① 認知症看護認定看護師 田上 理枝 (コープリハビリテーション病院 4階病棟)

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

シリーズ「専門職の誇り」

安心して

服薬していただく手助け

薬剤師として、日々の業務の中で、特に時間をかけて取り組んでいることは、入院時の患者様の持参薬確認です。入院時、直接患者様に接することがないため、持参薬と診療・薬剤情報から様々なことを読み取ります。たとえば、服用量・服用方法は適正か？類似薬の重複はないか？併用注意・禁忌はないか？継続が必要か？など。また当院採用でない薬の代替薬を決めるときは細心の注意をはらいます。そして医師に情報提供を、時には処方提案もします。

日本の医療において社会問題となっている「ポリファーマシー」*に對しても、高齢でしかも複数の疾患に罹患している患者様が多い当院の薬剤師としては、医師との信頼関係・他職種と情報を十分に共有して服薬指導をおこない患者様に安心して療養していただく、このような理想的な業務



薬剤科職員（筆者中央）

がおこなえるよう自己研鑽に努めています。これこそが、私の薬剤師としての誇りです。
コープリハビリテーション病院
薬剤科副主任 岡本 智香

松江保健生活協同組合 老健虹より 施設見学に来られました



老健虹の利用委員の皆様と意見交換

6月2日に松江保健生活協同組合 老健虹の利用委員の皆様がコープリハビリテーション病院・老健あかねに訪れ、当院の事業所利用委員の方々とボランティア活動や患者会などについての意見交換を行いました。特製の「虹の箱」は好評で設計図を差し上げ、機会があれば老健虹にも訪問させていただく約束もいたしました。

コープリハビリテーション病院・老健あかね
事務長 笹舘 勝人

に伴い、環境や求められるものも変化してきています。回復期リハビリは在宅生活を見据え他職種と連携しての支援が必要です。ここ数年は回復期のリハビリの看護を希望し入職するスタッフが増え嬉しく思います。まだまだ課題はありますが自分の意見や想いを提案できること、スタッフそれぞれの強みが生かせる部署になれるようになってほしいです。

患者様にここでリハビリができてよかつたと思っ頂けること、スタッフがやりがいをもつて働ける職場であるように

移転の数カ月前から新病院の棟の設計を見ながら具体的な意見を出し合っていました。がなかなか構想がイメージできずにいました。新病院がスタートしてみないとわからない、そこから課題をこなしたいこうという気持ちでした。旧病院では構造上不便さを感じることもありましたがスタッフにとつては馴染みのある環境であり、一転新しい環境へ変わっ



大田 幸子

てしまうことへの不安もありました。2月1日に移転し今現在4カ月が経ちました。リハビリ棟は広々とした療養しやすい環境になり、旧病院と違い患者様同士の交流を多く目にするようになりました。外の景色がよく見える、光が入りやすくなったなど適した環境が提供でき、病棟全体が明るくなったと感じます。満足しているだけではない環境が提供できるとともにスタッフとしての役割を考えていか

新病院の感想 人の心にも光と風通しのよい環境

移転の数カ月前から新病院の棟の設計を見ながら具体的な意見を出し合っていました。がなかなか構想がイメージできずにいました。新病院がスタートしてみないとわからない、そこから課題をこなしたいこうという気持ちでした。旧病院では構造上不便さを感じることもありましたがスタッフにとつては馴染みのある環境であり、一転新しい環境へ変わっ



外光と見通しのよさを工夫した食堂

○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 8:30～17:00
(土日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ
http://coopreha.jp/
メールアドレス
info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表					
コープリハビリテーション病院 [086-444-3212]			老健あかね [086-446-6541]		
	内科	歯科	短時間 通所 リハビリ	訪問 リハビリ	通所 リハビリ
診療時間	午前 9:00～ 12:30	午後	9:00～ 16:50		9:00～ 16:00
月			○	○	○
火	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	○
土					○

医療福祉相談・連携室		
相談時間	平日	9:00～12:00 13:30～16:30
	土曜日	9:00～12:00
	日・祭日	休み

新入職員 紹介

コープリハビリテーション病院
5階病棟 介護福祉士
三宅 弘子

コープリハビリテーション病院
5階病棟 介護福祉士
石田 真弓

老健あかね
介護福祉士
岩崎 正美

老健あかね
通所リハビリ 介護福祉士
柏原 万里

老健あかね
通所リハビリ 介護士
山下 正代

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。